石川県

輪　島　市

能登半島の北西にある輪島市は、人口約３万人の町です。中世に曹洞宗の本山「總持寺」が開かれ、江戸中期以降は漆器業が盛んになりました。世界農業遺産「能登の里山里海」のシンボルの一つである千枚田の景観は絶景です。近年は天然ふぐの水揚げ量が日本で一二を争う産地として知られています。

〔人口〕　２７，２０５人（H27.10.1）

〔面積〕　４２６．２㎢

〔ふるさと納税寄付額（Ｈ２９年度）〕

９，１０３件　３６８，４６５千円

「曹洞宗大本山總持寺祖院」

曹洞宗の大本山として開山するも明治の大火で大部分が焼失。現在は祖院として当時の面影を偲ばせている。

「輪島塗」

堅牢豪華で知られる輪島塗は100を超える手作業の工程で作られ、伝統として定着させました。

「白米千枚田」

日本の棚田百選、国指定文化財名勝に指定され、奥能登を代表する観光スポットです。

「輪島ふぐ」

平成２２年～２７年まで５年連続日本一の水揚げ。２８年は惜しくも2位となるも日本屈指の水揚げ量を誇る。

不妊治療費への独自支援「子宝支援事業」

輪島市では、地域の課題解決のため、ふるさと納税を活用し、様々な事業を実施しています。

その１つに子宝支援事業があります。

女性の晩婚化に伴って、不妊の検査や治療を受ける人が増え続けています。しかし、治療方法によっては１回数十万円かかるものもあり、高額な費用負担への心配が募ります。

治療を受けて妊娠した女性（イメージ）

出産したこども（イメージ）

不妊治療に取り組む夫婦対して、経済負担を軽くする国の助成制度がありますが、助成を受ける夫婦の所得が一定額を超えると助成を受けられなかったり、助成通算回数に制限があります。

輪島市の子宝支援事業では、所得制限や通算回数制限をなくし、不妊治療に取り組む夫婦へ、国の制度を上回る独自の支援を行っています。

皆さんの寄付がこんなに役立っています！

平成 28 年度よりふるさと納税を活用することにより、特定不妊治療の 1 年度あたりの助成限度額を 60 万円から 100 万円へ引き上げた結果、利用者数や利用回数が増加しました。

これまでに利用者の約６割が子宝に恵まれており、引き続き不妊治療への支援を行ってまいります。

応援しています！～寄付者の声～

- 過疎化、少子高齢化に悩むふるさとのために寄附をしました。
- 地域福祉のために役立ててください。

感謝しています！～住民の声～

- 子宝支援制度で初めて子どもが授かりました。この上ない喜びです。
- 特定不妊治療への助成金額が増えたことは、本当にありがたいです。